

図書館だより

箕面学園高等学校
図書館
平成30年3月1日



4月始まりの手帖が店頭に並ぶようになりました。勉強ができる高校生の100人のうち66人が、手帳などで勉強時間と内容を徹底管理していました。自分の使った時間を知ることは大切です！

ダラダラした生活を送っていたのが、スケジュール帳をつけると急激に成績が上がったそうです。

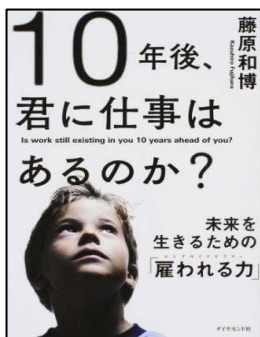
いつかしてみたいことや目標なども書き出してみてくださいね。

閉館日のお知らせ

願書・入学手続きがあるため下記の日程は閉館します。

閉館 3月2日(金) 19日(月)

20日(火) 22日(木)



★10年後、君に仕事はあるのか？ /藤原和博(ダイヤモンド社)

「雇われる力」の基本は人柄と体力を鍛えること。そして、目の前にいる人に信用されるかどうかです。一生90年の時代です。
・30代まではたくさん恥をかこう・コミュニティという財産を蓄えよう
・希少性の時代には、レアカードを目指せ・キャリアの掛け算で100万分の1の存在に・就職では「逆張り」しよう!など高校生に向けて語ります。元リクルート社員でよのなか科で有名な筆者。現在、奈良・一条高校校長の本です。

★新時代を勝ち抜く名将たち 「いまどき世代」と向き合う大人力/大里実 (インプレス)

「我慢強さが無い」「打たれ弱い」「コミュニケーション力が足りない」……
「いまどきの若者」にどう向き合う大人力が必要かが書かれています。

- 「指導者は“気付かせ屋さん”でしかない」 (栗山英樹/日本ハム)
- 「ベクトルを自分自身に向けさせる」 (西谷浩一/大阪桐蔭)
- 「『What do you think?』の繰り返し」 (門馬敬治/東海大相模)
- 「そこそこやるか、そこまでやるか」 (鍛冶舎巧/秀岳館)
- 「まずは大人が認めてあげること」 (小倉全由/日大三)
- 「何を言うかより誰が言うか」 (荒井直樹/前橋育英)など



★I LOVE YOUの訳し方/望月竜馬(雷鳥社)



いきなり「付き合ってください！」と頭に浮かんだことをストレートに言うとう失敗しますよ！詳しくは図書館にある「伝え方が9割」という本を読んでくださいね。恋愛に本は役立ちます。
この本は100人の作家の100通りのI LOVE YOUの伝え方が載っています。「好きって言いたくなかったの。たぶん、それよりずっと好きだったから」(村田沙耶香) こんな気持ち分かりますか？



3月の新着図書



★菊乃井 風花雪月
/村田吉弘(講談社インターナショナル)

料理人を目指す人に是非読んでもらいたい一冊です。調理師の専門学校に行こうかな?と迷っている人も一度見に来てください。
京都祇園円山の料亭「菊乃井」三代目村田吉弘さんの料理や器が美しい本。

★i /西加奈子(ポプラ社)

シリアに思いをはせる話を書きたくなった

「友達と話していたんです。最近、愛が足りないんじゃないかなって。自戒を込めて、愛せてないし、愛されていない。それでああ、自分は今愛について書きたいんだなって気づいたんです」それでこの作品が生まれたと西さんは語っています。



★野球ノートに書いた甲子園5
/高校野球ドットコム編(ベストセラーズ)

自分たちと同じ高校生の彼らがどのように日々考え、自分に問いかけて時間を過ごしているかをこっそりのぞいてみませんか?
作新学院高校・報徳学園高校・北海高校・八王子高校・福岡大大濠高校・英心高校のノートです。



★日本文学全集③⑦巻/池澤夏樹編(河出書房新社)

枕草子を酒井順子、方丈記を高橋源一郎、徒然草を内田樹まずこれを読んでから、原文触れるのもよしです。

授業で習った「竹取物語」を森登美彦、「伊勢物語」を川上弘美、「堤中納言物語」を中島京子、「土佐日記」を堀江敏幸、「更級日記」を江国香織が今の言葉で伝えます。

